

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	キリスト教と文化研究センター
大項目	11 教員・教員組織
中項目	
小項目	11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。
要素	編制方針に沿った教員組織の整備 授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備 研究科担当教員の資格の明確化と適正配置(院・専院)
小項目	11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。
要素	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化 規程等に従った適切な教員人事
小項目	11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。
要素	教員の教育研究活動等の評価の実施 ファカルティ・ディベロップメント(FD)の実施状況と有効性

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 学際的な活動と学外研究者との交流を促進するため、各研究プロジェクトに最低1名の学外研究者を加える。	→主題プロジェクト、キリスト教主義プロジェクト、先端開発プロジェクトの3プロジェクトはいつでも学外研究者が存在しないので、1名以上を加える。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

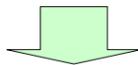
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆	小項目 11.0.2	(方針) センター長は、神学部教員か学部宗教主事の中から選任する。センター副長は、一名は神学部教員か宗教主事の中から選任し、もう一名は宗教センター宗教主事が担う。主任研究員を4名置き、2名を学部宗教主事の中から、2名を神学部教員の中から選ぶ。その他、研究プロジェクトのメンバーとして、研究員を若干名置く。 (現状説明) 2009年度は、センター長は宗教主事が、センター副長の一人は神学部教員が担った。主任研究員は神学部教員の中から2名、宗教主事の中から2名担当した。各研究プロジェクトに若干の研究員を置いた。各研究プロジェクトに最低1名の学外研究者を加えるにまだ至っていない。
☆	小項目 11.0.3	(現状説明) 2009年度は、聖和大学との合併により、キリスト教学科から一名の教員が移籍し、現在RCCの専任教員は2名となっている。
☆	小項目 11.0.4	(現状説明) 教員の研究活動については、紀要への論文の投稿や研究プロジェクトでの発表などによって行われている。FDについては、現在RCCからの授業提供が行われていないので、RCCとしては行っていない。
☆	その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目 11.0.2	『キリスト教平和学事典』は、センター長、センター副長、および主任研究員の監修・編集の労により、完成させることができた。研究プロジェクトも、研究員の努力により成果が上がっている。
★ 小項目 11.0.3	
小項目 11.0.4	
その他	



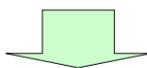
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目 11.0.2	
小項目 11.0.3	
★ 小項目 11.0.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目 11.0.2	研究プロジェクトに学外研究者を加えることを目指すべきである。
小項目 11.0.3	
★ 小項目 11.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目 11.0.2	
小項目 11.0.3	
★ 小項目 11.0.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

- 現状では、必要な人的資源を学内の宗教主事や神学部教員に求めています。2009年度に設定された目標の中でも謳われているように、研究活動の活性化のためには学外の人材をも活用することが望まれます。
- 理念・目標のための人員配置であると評価できます。ただミッションの遂行は専門家だけでは動かないと思います。学内の有志の教職員、学生の参加する附属組織があることが期待されます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

11.0.0.S1	専任教員一人あたりの在籍学生数
11.0.0.S2	開設授業科目における専任比率
11.0.0.S3	専任教員の年齢別構成
11.0.0.S4	教員一人当たりの授業時間数
11.0.0.S5	本学出身の専任教員の構成比率
11.0.0.S6	海外の大学で学位を取得した専任教員の比率
11.0.0.S7	教員組織における実務家教員の占める割合(専門職大学院に限定)
11.0.0.S8	教員組織における女性教員の占める割合
11.0.0.S9	任期制教員(契約教員)の採用数
11.0.0.S10	実験実習指導補佐、教務補佐、授業補佐の採用数
11.0.0.S11	ティーチング・アシスタント(TA)の採用数
11.0.0.S12	契約助手の採用数
11.0.0.S13	実験助手の採用数
11.0.0.S14	リサーチ・アシスタント(RA)の採用数
11.0.0.S15	公募制による採用教員の数

<個別的な指標>
